

**関西学院大学人間福祉学部社会起業学科
社会起業学科連続公開講座「世界を変える社会起業家たち 2009」**

関西学院大学人間福祉学部社会起業学科では学科開設の2008年度に続き、2009年度も世界各地で活躍する社会起業家たちを招き、連続公開講座を開催します。一般視聴可(事前申し込み不要、参加費無料)で、会場はすべてG号館202号教室の予定です。なお、5月7日に関しては、通訳がつきます。問い合わせは、人間福祉学部事務室(0798-54-6844)まで。

第1回 4月16日(木)16時50分～18時20分(5時限目)

◇講師 村田早耶香氏(NPO法人かものはしプロジェクト 共同代表)

◇テーマ 「カンボジアの子ども達の笑顔のために～27歳女性が社会起業で児童買春問題に挑む～」

NPO法人かものはしプロジェクトの共同代表である村田早耶香氏を招く。

かものはしプロジェクトは、世界中の子ども達に対して、強制的な性的搾取を防止する活動に関する事業を持続的かつ発展的に行い、より多くの子どもたちが未来への希望を持って生きられる世界を実現させることを目的としています。そして、ソフトウェア開発事業を行い、海外の現地とも連携して進めることにより海外の現地のIT産業の発展に寄与するとともに人と技術の交流に寄与し、日本およびカンボジアその他の国の情報化を促進させることを目指しています。当日は、こうした活動とともに、どのようにして村田氏がこうした団体を立ち上げたかの経緯などをお話いただきます。

第2回 5月7日(木)16時50分～18時20分(5時限目)

◇講師 マリー・ソー(Marie So)氏(Ventures in Development 創設者)

◇テーマ 「ソーシャル・イノベーション」

社会的事業を展開することによって持続可能なサポートを提供する非営利組織 Ventures in Development の共同創設者マリー・ソー(Marie So)氏を招く。ソー氏は、2007年、ニューズウィークの特集「世界を変える社会起業家100」の一人に選ばれ、現在世界的に注目をあびる社会起業家。Ventures in Development では、中国北西部に住むチベット族の村で、ウシ科の動物「ヤク」の乳製品や、柔毛を使ったカシミアのような製品「ヤクダウン」の開発など、新たな産業を興すことによって、その村の貧困問題解決に取り組んでおり、当日はその活動ほか、ViD の最新の活動内容について話していただきます。

第3回 5月21日(木)16時50分～18時20分(5時限目)

◇講師 森重裕子氏(京都大学大学院博士後期課程)

◇テーマ 「森とエイズとシアバター:結局、行き着いたのは起業でした」

現在、アフリカのブルキナ・ファソで、HIV感染女性たちの経済的自立支援のために、シアバターを原料とする石鹼製造研修所を現地で立ち上げ、日本で販売するプロジェクトを JICA 事業などと協力して準備しています。当日は、関学卒業生の森重氏が、百貨店勤務、ネパールでのストリートチルドレンや子どものトラフィッキング(人身取引)サバイバー支援活動、アフリカでの青年海外協力隊での活動を経て、社会起業に至ったプロセスをお話いただきます。

第4回 6月11日(木)16時50分～18時20分(5時限目)

◇講師 溝畑宏氏(株式会社大分フットボールクラブ(大分トリニータ)代表取締役)

◇テーマ 「ゼロから夢の実現に向けて」

株式会社大分フットボールクラブ(大分トリニータ)代表取締役の溝畑宏氏を招く。

総務省のキャリア官僚として大分県に出向しているときに、ヨーロッパのサッカーのワールドカップ大会の熱気に触れて、これを大分でも実現させようと溝畑氏は考えました。しかし大分にはスタジアムは愚か、チーム也没有。ゼロからチームを作り上げるところから始まり、なかなかJ1入りできない苦しい時期や、スポンサー企業の倒産による経営難など、数々のドラマを乗り越えて、大分にサッカーを根付かせてこられました。そうするうちに溝畑氏は総務省のキャリア官僚という安定した道を離れて、一人の挑戦する人間に戻りました。起業というと会社を作ることから始まると思いがちですが、会社のなかにあって起業をするとか、自治体職員として業を起こすことも多いことをお話ししていただきます。